

【普通科】 3年次 【選択】科目 「現代社会研究」授業のシラバス

1 概要

教科名	公民	科目名	現代社会研究	単位数(コマ数)	2(105)
科目の目標	現代社会を生きていく中で、政治、経済、文化、環境等の基礎的問題について、主体的に考察し、自ら設定した現代社会の課題を探究し、思考力や表現力を育成する。				
教科書(出版社)	なし	副教材(出版社)	小論文ジャンル別キーワード解説(桐原書店) 小論文ジャンル別キーワード解説準拠ワーキングブック(桐原書店)		

2 学習の方法

(1) 予習について

①授業の際に使用する「小論文 ジャンル別キーワード解説」を事前に読み、意味がわからない単語やそれに関連する事柄を自分なりに調べておくこと。

(2) 授業について

①板書や授業に関するプリント等を配布したりします。

(3) 復習について

①しっかりと授業の内容を復習してください。

②授業での疑問や理解できなかったところは放置しないで担当者にきくこと。

③意味がわからない単語やそれに関連する事柄を自分なりに調べておくこと。

〈学習アドバイス〉

・「なぜ？」と考えるクセをつけましょう。ただ単語を覚えるのが現代社会研究ではありません。ある出来事背景には必ず理由があります。それを追究する姿勢を養えば、現代社会の未来を切り拓く力や、学習活動全般に活かされる力が身につくでしょう。
・新聞やニュースを見る習慣をつけましょう。テキストのほとんどの語句は新聞やニュースで取り上げられているものです。日頃から問題意識をもって考えることが大切です。

3 評価について

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
① 関心・意欲・態度	社会的事象に興味を持ち、積極的に取り組んでいるかを評価します。
② 思考・判断・表現	現代社会の問題に対して、広い視野に立って多角的に考察するとともに、社会の変化や様々な立場、考えを踏まえ主体的に判断し、適切に表現することができるかを評価します。また、自ら関心のあるテーマを設定し、調べて発表できるかを評価します。
③ 資料活用の技術	与えられた情報から必要な情報を選択するとともに、自ら必要と考える情報を入手し、真偽の判断をすることができるかを評価します。また、社会的事象から、自ら関心のあるテーマを諸資料を用いてまとめることができるかを評価します。
④ 知識・理解	社会的事象や現代社会の問題を理解して、知識を身につけているかを評価します。

(2) 評価の方法(以下観点①～④は「(1) 評価の観点」と対応する)

観 点	評価材料		定期考査	ワーク	ノート	レポート	レポート(テーマ)	グループワーク
	割合							
① 関心・意欲・態度	25%		ノート・ワーク提出、授業の取り組みなど	○	○			
② 思考・判断・表現	25%	○	考査における論述問題、ワークシートでの作業など			○	○	○
③ 資料活用の技術	25%	○	考査における論述問題、ワークシートでの作業など			○	○	
④ 知識・理解	25%	○	教科書教材の知識等に関わる問題など					

〈担当者からのメッセージ〉

提出課題を熱心に取り組み、定期考査の点数もしっかりとれるように努力することが大切です。そうすれば、いい評価につながるでしょう。

【普通科】 3年次 【選択】科目 「現代社会研究」授業のシラバス

4 授業計画

月	単元	時数	学習内容	観点別評価	到達目標	考查等
前期 4	1 国際	9	グローバル化／EU・難民／テロとの戦い／中国経済の台頭／核兵器禁止条約／日本の対外援助／食料問題／観光立国／外国人の労働問題／文化相対主義	①②③④	・学習内容を理解し、基本的な知識を身につけ、問題について考察することができる。	前期中間 前期期末 後期中間
5	2 政治・経済	12	政治参加の新たな流れ／憲法改正の動き／18歳選挙権／地方自治と地方分権／裁判員制度／財政危機／円高と円安／FTAとEPA／企業倫理／規制緩和と自由化／震災復興／新自由主義	①②③④	・学習内容を理解し、基本的な知識を身につけ、問題について考察することができる。	
6	3 環境	12	地球温暖化／ポスト京都議定書／オゾン層の破壊／森林減少と砂漠化／大気汚染・水質汚染／持続可能な開発／循環型社会／生物多様性／環境倫理	①②③④	・学習内容を理解し、基本的な知識を身につけ、問題について考察することができる。	
7	4 科学・技術	12	原子力発電／放射能／再生可能エネルギー／バイオテクノロジー／AI／宇宙開発／ロボット開発／科学技術と人間	①②③④	・学習内容を理解し、基本的な知識を身につけ、問題について考察することができる。	
8	5 情報・通信	6	インターネット／ICT／携帯電話／ソーシャルメディア／マスメディア	①②③④	・学習内容を理解し、基本的な知識を身につけ、問題について考察することができる。	
9	6 教育	12	情報リテラシー／サイバー犯罪／個人情報保護／知的財産権／リアルとバーチャル	①②③④	・学習内容を理解し、基本的な知識を身につけ、問題について考察することができる。	
			学校現場をめぐる問題／学力低下／留学／教育の情報科／キャリア教育／生涯学習／英語教育／競技スポーツと健康スポーツ／教育の自由と強制	①②③④	・学習内容を理解し、基本的な知識を身につけ、問題について考察することができる。	
後期 10	7 医療・健康	15	臓器移植／遺伝子診断／生殖医療／再生医療／医療崩壊／生活習慣病／感染症／現代の病／終末期医療／生命倫理	①②③④	・学習内容を理解し、基本的な知識を身につけ、問題について考察することができる。	
11	8 福祉	15	超高齢社会／社会保障制度／医療保険制度／公的年金制度／高齢者の生活／介護をめぐる問題／児童福祉／バリアフリー／ノーマライゼーション	①②③④	・学習内容を理解し、基本的な知識を身につけ、問題について考察することができる。	
12	9 社会	9	少子化／男女共同参画社会／雇用をめぐる環境／格差社会／無縁社会／管理社会／防災／ボランティア活動／東京オリンピック／食育／現代の若者／日本語の乱れ／日本文化の広がり／正義論／日本論・日本人論	①②③④	・学習内容を理解し、基本的な知識を身につけ、問題について考察することができる。	
1 2 3	・テーマ学習	3	・現在の社会における諸象から、自らテーマを設定して調査を行い、レポートにまとめ、発表する。	①②③④	・自らが定めたテーマに対し、積極的に取り込むことができる。 ・そのテーマに対して自分なりの考えをもち、相手に伝えることができる ・調査を行い、整理し、まとめることができる。	
		計 105				

※ 観点別評価①は関心・意欲・態度、②は思考・判断・表現、③は資料活用の技術、④は知識・理解を表しています。
 ※ 授業計画は進度により前後することがあります。